

# 森づくり最前線

群馬森林管理署 渋川森林事務所  
森林官 小椋 清一

私が務める渋川森林事務所は、冬には上州名物からっ風(赤城おろし)が吹き下ろす群馬県前橋市にあり、前橋市、渋川市の国有林約3,600haを管理しています。

管内はワカサギ釣りなどで知られる赤城山周辺地域と利根川を挟み西側の子持山周辺の大きく2箇所に分かれています。

赤城山周辺地域は広葉樹林が多くあり、釣りやハイキングなど多くの方が来訪します。中にはクマタカなどの猛禽類やサクラソウなどの希少植物が成育するところもあり、サントリー「天然水の森赤城」としてサントリーホールディングス(株)と森林整備協定を結び生育環境に注意しつつ事業を行っています。

子持山周辺では今年度も森林整備を予定しており、間伐で生産される約5,700m<sup>3</sup>の材などは、群馬



赤城山・大沼(対岸は国有林前橋市富士見町石井黒檜山国有林335林班)



サクラソウ



榛名を望むR1市場化造林地(渋川市横堀寺平国有林308ろ林小班)



林小班カモシカのつがい(渋川市小野子裸岩国有林292ろ林小班)

県森林組合連合会の渋川県産材センターといった地元の木材施設等に納入されます。

当事務所でのここ数年の問題はニホンジカやウサギによる食害があります、全国的に問題になっているこの件には、当事務所も悩まされてきています。

今年は昨年までと違い、シカ柵や樹皮保護と言った防衛的な方法ではなく、森林管理署本署の職員と一緒にシカのワナを設置し捕獲することにしました。

群馬森林管理署内の他の森林事務所では実施していますが、当事務所では初めてのことなので、普段見回りの際にはよく見かけるシカですが、いざ罠を仕掛けて捕獲するとなるとシカが普段どこを歩いているのかを知ることも重要になってきます。

これから、いろいろな方にアドバイスや指導をいただきながら実施し、剥皮の被害や植栽木の食害が少しでも減るよう努力していきたいと思っています。

また、次世代に残せる森林作りを心がけて山を守っていきたくと考えています。



軽石販売箇所造林箇所獣害防除柵施工後(渋川市赤城町北赤城山国有林324は林小班)



山で遭遇したオス鹿

発行所 関東森林管理局  
編集 総務課  
TEL (027)210-1158  
FAX (027)230-1393